

インタビュー

傍聴席からひとつと



ただてる 佐藤 忠暉 さん  
山田・70歳

「議会を傍聴されたきっかけは何ですか。」

「議会は以前から関心があり、毎回のよう傍聴している。」

「議会を傍聴されている感想はいかがですか。」

「前回一般質問しない議員が今回はどんな質問をするのかと期待をして傍聴するが、今回も質問がなくてがっかりする。新旧議員問わず質問しない、できない議員が堂々と議場にいること自体、自分を恥ずかしいと思わないことが、山田町民として恥ずかしい。今はまず、町が緊急雇用創出事業を委託したNPO法人「大雪りばあねっと。」予算使い切り問題の解決の一点が優先だ。この問題は執行部側も

議員側も、もっと真剣に取り組まなければならない。聞いていると「我田引水」のことである。

「今後、議会または町政に望むことは何ですか。」

NPO問題で、町は第三者調査委員会を立ち上げ、議会は調査特別委員会を設置して聞き取り調査をしているが、その結果、内容はどうなったか町民に知らされていない。またもや、税金の無駄遣いにならないようにしたい。

町民は無期限の調査は望んでいない。一日でも早くこの問題にケリをつけて再発したい。前執行部側の責任問題もあいまいにしてはいけないし、現執行部側および議員が解決できないならば、どちらも一度解散してやり直してはどうか。その知恵と発案が発揮できる人間がいるのかどうか。いなければ話にならないが…。

議会を傍聴しませんか



6月定例会では、3日間で延べ23人の方が議会を傍聴しました。議会での一般質問や議案審議などを通じて町政課題や町の未来が見えてきます。お気軽に傍聴にお越しください。

次回の定例会は9月中旬に開会予定です。

議員出欠表

◎病欠入院 □公務欠席  
△遅刻早退 ○自己都合

月日	本会議種別	欠席者等氏名
5月17日	第3回臨時会	欠席者等なし
6月4日	第2回定例会	△山崎泰昌、○山崎幸男
6月5日	〃	○山崎泰昌、○山崎幸男
6月6日	〃	○山崎幸男

あとながき

▼早いもので一年の半分が過ぎました。先月まで寒暖の差が激しく体調管理が大変でした。季節の変わり目ですので、皆さまも体調管理に気をつけてください  
▼織笠地区の防災集団移転促進事業に係る用地造成に着工し、被災した船越小学校も、今定例会で体育館とプールの着工が決まりました。今後は、目に見える復興の姿が皆さまへ元氣や希望を与えてくれると思います  
▼町内に重い空気をもたらしたNPO問題も責任追及するために提訴という一歩を踏み出しました。これに関し、議会リコール運動があり、議員、議会への不満があると認識しています。しかし、我々議員への叱咤激励と解釈し、気を引き締めてNPO問題の早期解決と復興事業のスピードアップに力を注ぎたいと考えております。今後とも、皆さまの叱咤激励をよろしくお願いたします。(山崎)

議会広報編集特別委員会

- 議長 黒 昆
- 副議長 山 崎
- 委員 尾 村
- 委員 木 形
- 委員 坂 英
- 委員 本 敏
- 委員 尾 明
- 委員 山 洋
- 委員 崎 泰
- 委員 村 昌
- 委員 形 子
- 委員 敏 明